

9月15日に(株)なぎさパークの野沢社長から当連盟に送付された抗議文です。
当連盟の署名活動に関しての意図を理解せず、尚且つ多くの間違いがありますので、別紙に指摘しておきます。

神奈川県セーリング連盟 貝道 和昭 様

署名活動に対する疑義と抗議について

貴団体は、現在、当社社員の桑名眞彦顧問（以下、「桑名」）の復権とハーバー内の人事権について、ハーバースタッフの意見を十分に考慮する旨の署名を募集しておりますが、これは、ハーバーの安全体制などについて、事実上反し徒に利用者の不安を増長するものです。また、会社の人事権、組織運営に関わる問題について、不当に干渉するものであり、看過することはできません。こうした、当社にかかわる重要な問題について、事前に何の相談もなく実施されたことは、信頼関係にもかかわるゆゆしき問題です。

※ 1

今回の署名活動は、組織の活性化と強化を図った9月1日の当社の人事異動（息子の転出、新しいスタッフの転入）に不満を持った桑名個人から貴職への要請に基づくものであり、何故、会社の人事に神奈川県セーリング連盟が介入してくるか、不可解です。

そもそも、退職後の桑名の処遇について、本年3月11日に貴職の要請もあって、現在の職（顧問、非常勤勤務）としたものであり、今になって異を唱えるのは到底納得のいくものではありません。

※ 2

7月下旬に、「桑名顧問を会社が辞めさせる」との誤った情報が流され、一部の利用者が県の主催の会議等で抗議するようになりましたが、当社は事実関係を明確にするために、「利用者の方々に」を掲示し、「桑名顧問は社員への業務の継承のために、今後も従事させること、組織の年齢バランス、風通しを良くする必要があること」を周知し意見を求めたところです。その結果、当社に寄せられた意見は1通のみで、この問題は落ち着いたものと考えております。

9月1日にボート部門に2名を増員し、1名（顧問の息子）を内部異動させました。この一連の人事は、ボート部門に現業を除くと正規社員が親子2名しかおらず、また、年齢構成も40歳代と50歳代の中堅社員がおらず、組織の適正なバランスを保つために行いました。前ハーバースタッフは残念ながら後継者を育成せず、何度も会社の規定を破るなど、長期在職の弊害も生じておりました。このため、社内のコンプライアンスを守り、組織の風通しを良くする必要があると思いました。

※ 3

定年を迎えた社員が元の職を離れ、後輩たちがその業務を継承していくのは、どの組織にとっても当然のことです。外部の圧力等で、元の職に戻すなどということでは、継続的、安定的な業務運営ができなくなり、また、組織の衰退を招き、一般社会ではあってはならないことです。

当社は、もとより、ハーバーの安全管理については万全を尽くしており、桑名が顧問となった4月以降もハーバーの管理業務はレスキューを含め問題なく実施しています。さらに、9月1日からは、経験者（船長職、消防のレスキュー専門家）を増員して強化を図っているところです。

貴団体が主張している以下の点について事実関係をただすとともに、県下のセーリング競技をまとめていく一般社団法人として、公正な立場で事業を行うべき団体が、民間会社の組織運営に介入することが適正なのか伺いたいと思います。

この署名活動に抗議するとともに、当社として貴連盟に対し、事実関係を明確にし、透明性のある対応を求めます。

1 安全性の見地

- 「9月から桑名氏以外に海上レスキューに従事できる社員はいない」としているが、従来、当社の加藤技能員はレスキューを実施しており、9月1日に転入した船長職の川又副主幹、藤沢市消防本部で海上レスキューを行っていた根岸業務員もその経験から十分に対処できます。また、矢野副主幹、足立主事もレスキューを補助し、桑名個人だけでなく組織で対応できる体制を組んでいる。どこから、上記のような意見が出てくるのか。

※ 4

2 セーラーと施設との安全管理

- 「信頼できるハーバーマスターの不在は、今後のハーバー運営に支障をきたす恐れがある。これはハーバー管理会社の責任、県の責任である」としているが、当社は4月からハーバー管理の経験のある桜庭管理部長をハーバーマスターとしており、また、ポートの業務については、ベテランの加藤技能員をまとめ役として、川又副主幹、矢野副主幹の3人でその機能を十分に対処している。
- 管理会社の責任となるような、具体的にどのような支障が生じているのか。

※ 5

3 セーリング競技の見地

- 「今後、オリンピックが予定され、多数の国際大会を含む大規模なレースの実施に際して、艇やボートの持ち込み、コンテナを現地で扱う職員が不在であり、国際ヨットハーバーとして信用問題に係る事態」としているが、現在、県からはオリンピックに関しての業務については、どこが行うのか明確に示されていない状況である。
- この問題は、当社でなく、まず、県が判断する問題である。
- 当社としては、指定管理業務はしっかり行くとともに、オリンピックに向けてこうした業務が割り当てられても十分な対応ができるようにするため、9月1日の人事異動で組織強化を図ったところである。

平成28年9月12日

株式会社湘南なぎさパーク 代表取締役社長

野沢

